

健康診断 検査項目説明

検査項目		検査内容
CT検査	胸部CT検査	ヘリカルCT装置にて、胸部X線検査よりも詳しい検査を行い、肺や気管、気管支などの病変を調べます。
	内臓脂肪検査	ヘリカルCT装置にて、へその周りを1スライスだけ撮影して、内臓脂肪と皮下脂肪を計測します。 ※へその周りを1画像だけになりますので、腹部臓器の病変は調べられません。
腫瘍マーカー ※1	AFP	肝炎や肝硬変、肝がんをチェックします。
	CA19-9	膵がんや胆のう、胆管がん等をチェックします。
	CEA	大腸（結腸、直腸）がん、胃がん、膵がん、肝がん、胆道がん等をチェックします。
	PSA（男性のみ）	前立腺がんをチェックします。
	CA125（女性のみ）	子宮がん、卵巣がん等をチェックします。
	CA15-3（女性のみ）	乳がん等をチェックします。
感染症	梅毒（RPR・TPHA）	梅毒に感染しているかチェックします。
	HBs抗原（定性）	現在、B型肝炎ウイルスに感染しているかチェックします。
	HBs抗体（定性）	過去、B型肝炎ウイルスに感染していたかチェックします。
	HCV抗体	C型肝炎ウイルスに対する抗体の有無をチェックします。
その他採血	血清ピロリ菌抗体	胃がん、胃・十二指腸潰瘍の原因となる細菌の感染をチェックします。
	ヘプシニンゲン（Ⅰ・Ⅱ・比）	胃がんの要因となる胃粘膜萎縮の状態を調べる検査です。陽性であれば胃粘膜萎縮があると推測され、胃がんが発生しやすい状態にあるといえます。
	HbA1c	過去1～2ヶ月の血糖状態を示します。
	血液型（ABO式）	血液型を検査します。
	アレルギー検査	少量の血液で39種類の主なアレルギー検査が可能です。（卵、牛乳、小麦、豆・穀・種実類、甲殻類、果物、魚・肉類、ハウスダスト、動物、昆虫、樹木、草本類、空中真菌（カビ）、真菌その他 など）
その他	骨密度測定	骨量低下の有無を超音波を使って調べます。座っているだけで、痛みもなく数分で終わります。
	眼底検査	瞳孔の奥にある眼底を、レンズを通して観察し、眼底の血管や網膜、視神経を調べる検査で、網膜剥離や眼底出血、緑内障などの目の病気を調べます。
	眼圧検査	房水という液体によって保たれている眼球内圧（眼圧）を測定する検査で、眼圧の高さで、高眼圧症や緑内障、網膜剥離などの目の病気を調べます。
	肺機能検査	呼吸器の病気が疑われるときや、肺の状態をみるときに行う検査で、スパイロメータという機械を用い、息を吸ったり吐いたりして息を吸う力、吐く力、酸素を取り込む能力などを調べます。
	胃透視検査 ※2	バリウムなどの造影剤を飲みながら、食道・胃や十二指腸などの形態や動き、粘膜の状態を観察して、がんや潰瘍などが無いか調べます。
	腹部超音波検査 ※2	肝臓、胆嚢、腎臓、膵臓、膀胱、前立腺、さらに子宮や卵巣が対象となります。

【※1】 腫瘍マーカー検査は、がん診断に補助的に使用するものです。がんがなくても数値が基準値を外れることや、がんがあっても数値が上昇しない場合があります。血液検査だけで全てが分かるわけではありません。内視鏡や画像診断検査などと併せて検査されることをお勧めします。また、初回の数値のみで判断せず、経年的に数値の変化を見ていただくことが望ましいです。

【※2】 胃透視検査、腹部超音波検査をご希望される場合は、前日の食事は22時までに済ませていただき、それ以降は絶食でお願いします。また、当日の朝もお水やお茶を飲まないようお願いします。